INFINIDAT

CASE STUDY

ストレージインフラストラクチャを複数のInfiniBox®に刷新し、100%の可用性、スケーラビリティ、低コストおよびサイバーレジリエンスを実現

株式会社エネコム

高性能・高可用性・高信頼性でトータルクラウドソリューションを支えるInfiniBox®

事例のポイント

エネコム様の課題

- 無停止サービスへの要求の増大
- 価格競争力
- 管理負荷の増大

導入成果

- アクティブ・アクティブ構成による無停止運用
- 容量単価が従来比2分の1から3分の1に
- 設定・運用・保守の負荷低減

導入ソリューション

- InfiniBox 5台：高性能・高可用性・大容量エンタープライズストレージシステム

「2台のInfiniBoxシステムをアクティブ・アクティブ構成にすることで保守・メンテナンスやソフトウェアのバージョンアップを行う際にも、無停止でより高い信頼性と安心感をもってサービスを提供し続けることができます」

ソリューション事業本部
ソリューションサービス部
樹木 崇 氏

エネコム

クラウド需要の拡大に対応し、急増するデータ量をサポートし、サイバー攻撃に対するセキュリティ対策を強化するため、株式会社エネコムは、より高い容量、パフォーマンス、信頼性、サイバーレジリエンスを低コストで実現するストレージインフラストラクチャの大幅な強化に取り組んだ。同社は、信頼性が高く、無停止サービスが可能で、障害やサイバー攻撃に対する耐性を備えたエンタープライズグレードのストレージ機能を持つInfinidatの高性能なInfiniBox®プラットフォームを採用した。

中国地方5県の電力を担う中国電力株式会社の子会社として、ICTサービスを提供しているのが株式会社エネコムだ。1985年に中国電力の100%子会社として設立された情報サービスの中国情報システムサービス株式会社（CIS）と、1992年に中国電力を筆頭株主として設立された通信サービスの中国通信ネットワーク株式会社（CTNet）が2003年に合併して今のかたちとなった。自社回線を活用した通信インフラとデータセンター（クラウド）を柱とした企業向けトータルソリューション「EneWings」をメインに、個人向けインターネット接続サービス「MEGA EGG」などを提供している。

エネコムでは、EneWingsのストレージインフラストラクチャの拡張と強化にあたってInfiniBoxシステムを採用し、このストレージシステムのアーキテクチャを最大限に活用して無停止運用を実現するとともに、ストレージ管理を大幅に簡素化し、容量単価を従来比2分の1から3分の1に低減した。導入と運用にあたった技術本部システム設備部とソリューション事業本部ソリューションサービス部の担当者に話を聞いた。

Solution Advantages for Enecom

アクティブ・アクティブ構成で
高信頼の無停止サービスと
サイバーストレージレジリエンスを実現

容量単価が従来の
他社システムの
2分の1から3分の1に

数時間かかっていた
ボリューム設定が
30分程度で完了

課題：逼迫する容量と管理負荷

エネコムは2011年にEneWingsクラウドサービスを開始し、2016年に広島データセンターを稼働。当初は、1ノードあたり9TBのオールフラッシュ構成を複数組み合わせたクラスターを4セット構築し、さらにバックアップ用途の構成も加えて運用していた。トータル容量は数百TB規模。しかし顧客基盤の拡大に伴って容量が逼迫し、大きなデータ容量を預かる際の調整にも苦慮するようになっていた。

エネコムとしては今後予想されるクラウド需要の拡大に対応し、EneWingsブランドの訴求を強化するべく、データインフラストラクチャの抜本的な改革を目指すプロジェクトを2021年10月に開始した。また設備運用の側面からも、既存システムでのハードウェア障害対応時のITスタッフの負荷の大きさや仮想環境への影響、さらに保守サービス切り替え時期が迫ってきたこともプロジェクトを後押しした。

新たなストレージに求められたことは、まず十分な容量と競争力のある容量単価、高い性能、100%または相応の可用性、そしてサイバー攻撃への対応能力だった。とくに当時はランサムウェアによる被害が拡大していたため、システムの信頼性は非常に重要な要素だった。

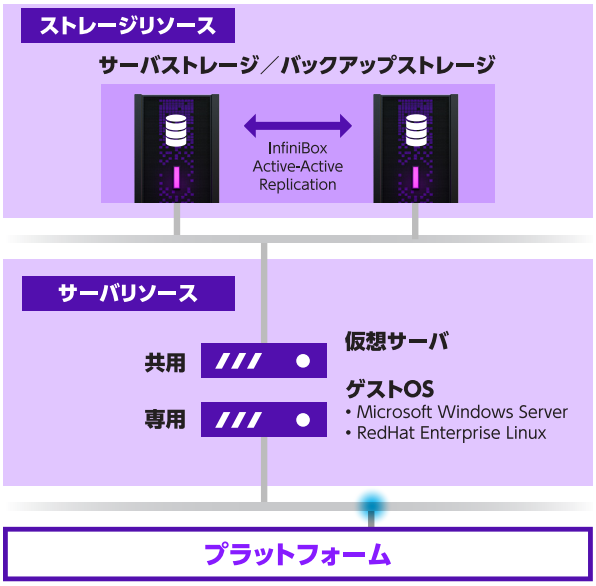
ソリューション：コスト、性能、信頼性に優れたInfiniBox

プロジェクトではまず現状の課題の確認と必要要件の洗い出しが入念に行われ、具体的な選定を開始したのは2022年の半ばになった頃だった。選定にあたってはInfinidatを含めた主要ベンダーのストレージが候補として検討対象になった。InfiniBox選定の決め手となったのは、容量単価での優位性（既存システムの2分の1から3分の1）、HDDとフラッシュのハイブリッド構成でもオールフラッシュと遜色ない性能、そして三重冗長化に代表されるシステムの堅牢さだ。

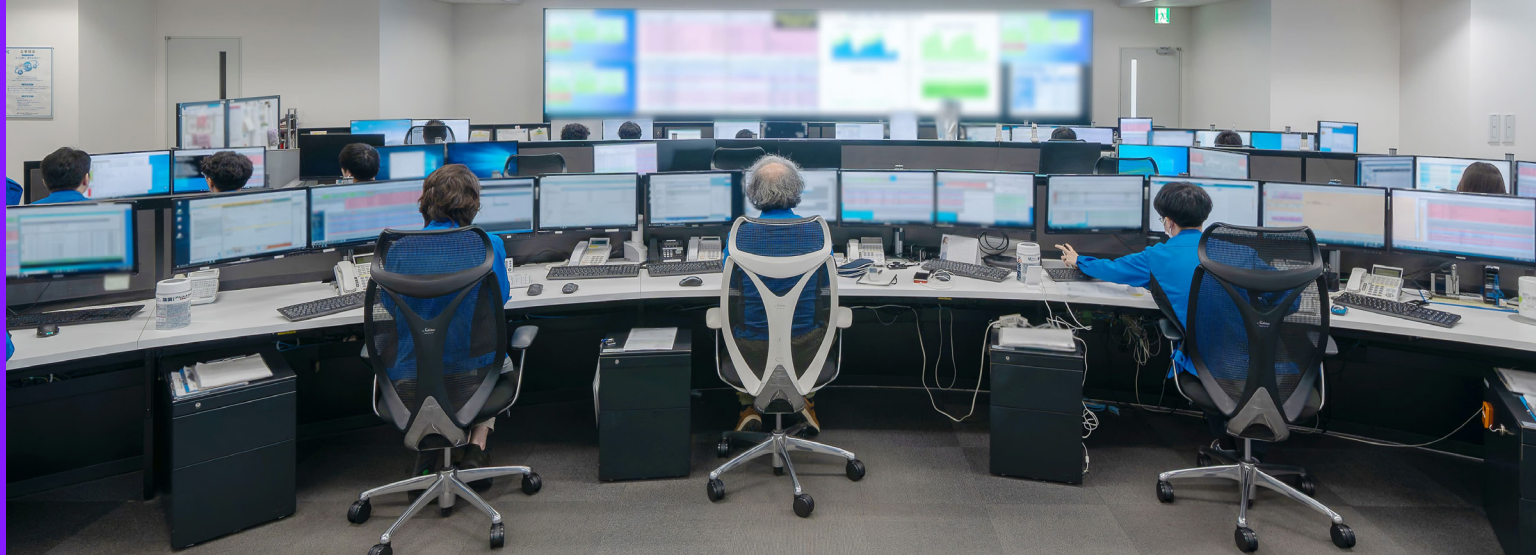
「大容量によるスケールメリットを活かして魅力的な価格が実現できたことに加え、万一サイバー攻撃を受けた際にすぐに復旧ができる改ざんができないイミュータブルスナップショットの高速な作成機能が標準で搭載されていたことが当社の要件に合致していました」とソリューション事業本部ソリューションサービス部の力石昌之氏は当時を振り返って語る。加えて、先行してInfiniBoxを採用していた複数の同業社からの意見も参考になったという。

エネコムが導入したInfiniBoxシステムは5台。EneWingsの基盤として、1PBのものを2台、社内の仮想基盤として330TBのものを2台、そしてバックアップおよび検証用として330TBを1台だ。InfiniBox導入以前のシステムでは外販用と社内用を同じストレージ上に置いていたため相互に影響を及ぼす懸念も出てきていたが、InfiniBoxでは別システムとしたため、その心配はなくなった。

EneWingsで使用しているInfiniBoxは、同じ製品を2台、アクティブ・アクティブ構成で運用している。つまり1台をプライマリ、1台をバックアップということではなく、全く同じものを2台作っているということだ。どちらもがプライマリストレージとバックアップワークロードの両方の役割を内包している。こういった使い方は日本ではまだ珍しい。「お客様の多くはわずかな停止でもビジネスに影響が出ます。2台のInfiniBoxシステムをアクティブ・アクティブ構成にすることで保守・メンテナンスやソフトウェアのバージョンアップを行う際にも、無停止でより高い信頼性と安心感をもってサービスを提供し続けることができます」（ソリューション事業本部ソリューションサービス部 樹木崇氏）。



INFINIDAT



成果：無停止サービスの実現と管理負荷の劇的な低減

InfiniBoxの導入は、顧客企業への安心だけでなく、社内的にも大きなメリットをもたらしている。「InfiniBoxになって、設定等の作業量が大幅に減っています」と語るのは技術本部システム設備部の藤澤和生氏だ。「ストレージの組み換え、増設といった作業時に運用設計や構築が必要なく、データを入れればすぐに使えるようになります。新しいボリュームを設定するのもこれまで数時間かかっていたものが30分程度で終わり、手間が大いに省かれています。」

社内の仮想基盤の運用についてはどうだろう。技術本部システム設備部の平野健 氏はこう説明する。「旧ストレージでは、ノード障害や追加の度にデータリバランスが発生して仮想マシン側のパフォーマンスに影響が出る可能性があるために日々の運用に苦労していましたが、InfiniBoxはInfiniRAID®によりデータ配置の最適化が施されており、ノード障害時やボリューム追加などの際にもデータリバランスが発生せず、VMwareのエコシステムサポートも充実しているので、運用の負荷がかなり軽減されました。」

今後：中国地方における通信とクラウドのトータルソリューションの訴求

エネコムのクラウドサービスビジネスが進展するにつれ、セキュリティの重要性は高まる一方だろう。力石氏は語る。「データ安全保障はこれからもっと重視されるようになると思います。我々が光ファイバーと組み合わせて、この中国地方、広島にデータをお預かりしているということはお客様にとって大きな意味を持つと思っています。InfinidatのInfiniSafeというサイバーストレージレジリエンスとリカバリーのソフトウェアを使って、こうしたお客様のニーズに対応していけるよう取り組んでまいります。」

「ストレージの組み換え、増設といった作業時に運用設計や構築が必要なく、データを入れればすぐに使えるようになります。新しいボリュームを設定するのもこれまで数時間かかっていたものが30分程度で終わり、手間が大いに省かれています」

技術本部
システム設備部
藤澤 和生 氏

回答者

株式会社エネコム
ソリューション事業本部 ソリューションサービス部
　副部長　力石 昌之 氏
　プラットフォーム構築保守第1サブマネージャー　樹木 崇 氏
技術本部 システム設備部 クラウドチーム
　サブマネージャー　平野 健 氏
　主任　藤澤 和生 氏

会社概要

株式会社エネコム
本店所在地：広島県広島市中区大手町2-11-10
URL：https://www.enecom.co.jp/

中国電力グループの情報通信子会社。1985年4月創業。「通信事業」と「情報事業」を柱に、総合的なICTサービスを提供する。法人向けに、トータルソリューションサービス「EneWings」、DX（AI/RPA/IoT）ソリューションサービス、システムインテグレーションサービスを展開。個人向けに、インターネット接続サービス「メガ・エッグ」を展開。従業員数は1,061名（2025年4月1日現在）、売上高は494億円（2025年3月期）。

info@infinidat.com

INFINIDAT

CS-ENECOM-251016-JP | © Infinidat 2025